

総合戦略に掲げる取組とSDGsの関係

SDGs（エスディーゼーズ）は、「Sustainable Development Goals」の略称であり、持続可能な開発のため、2030年までに取り組むべき、国際開発目標で、将来の世代のために環境や資源を壊さず、共に成長し、他者を思いやり、環境を大切に、今の生活をよりよい状態にすることを目標にしています。

朝倉市がより住みやすい、より住みたいというまちになるためには、SDGsの目標をバランスよく推進していくことが重要です。第2期総合戦略では、新たにSDGsの視点を取り入れることとし、各施策がSDGsの様々な目標に結びつけていることを示すため17の目標アイコンを使って視覚的に分かりやすく見える化しています。

「SDGsの17の目標」

目標アイコン	国際開発目標	地方自治体における役割
	あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。	すべての市民が必要最低限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援策が必要です。
	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	水とみどりなど自然資源を活用した農業や畜産などの食糧生産の支援を行い、適切な土地利用をもって、安全な食糧確保に貢献します。
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	すべての市民が健康状態の維持・改善ができるよう、各種医療制度の運営や福祉の充実に努めます。
	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	すべての市民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面での取組が必要です。
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行なう。	すべての市民が基本的人権を享有できるよう、特に社会的弱者といわれる女性や子どもの人権を守る取組が重要です。
	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	安全で清潔な水をすべての市民に供用できるよう、市は水道事業や水源地の環境保全を通して水質を良好に保つことが必要です。
	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。	公共施設等に率先して省エネや再エネを推進し、将来の世代に資源を残すため、持続可能なエネルギー源利用への信頼性を高める取組が必要です。
	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。	地域経済の活性化や雇用の創出のため、勤務環境の改善や制度整備など、労働者の待遇改善に努めます。

【産業と技術革新の基盤】 	<p>強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	<p>災害等に強い、地域のインフラ整備を行うとともに、地域経済の活性化を進める中で、新たな産業やイノベーション（技術革新）を創出することに貢献します。</p>
【不平等】 	<p>国内及び各国家間の不平等を是正する。</p>	<p>差別や偏見の解消を推進し、不公平・不平等のないまちづくりに取り組みます。</p>
【持続可能な都市】 	<p>包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>	<p>包摂的で安全かつ強靭で持続可能なまちづくりを進めることは、市にとって根本的・究極的な目標です。</p>
【持続可能な消費と生産】 	<p>持続可能な消費生産形態を確保する。</p>	<p>持続可能な生産と消費を推進し、環境負荷の削減を進めることで、将来の世代により良い環境を残す取り組みが必要です。</p>
【気候変動】 	<p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>	<p>気候変動問題は、大規模災害に繋がっており、深刻化しています。気候変動に備えた適応策の検討と策定が必要です。</p>
【海洋資源】 	<p>持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>	<p>海洋汚染の原因は、陸上で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ込むことに起因します。市は水質汚染等の対策に努めます。</p>
【陸上資源】 	<p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>	<p>自然資産や生態系を保護するため、市は、国や周辺自治体、関係者との連携し土地利用を考えます。</p>
【平和】 	<p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>	<p>平和で公正な社会をつくるため、参加型の行政を推進し、暴力や犯罪を減らす取り組みが必要です。</p>
【実施手段】 	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>	<p>すべての市民、地域、民間業者、NGO・NPO等の多くの関係者と協働し、持続可能なまちを構築する上で、その中核的な存在となるよう努めます。</p>

